

記入例

受験番号

※記入しないでください。

令和8年度高等学校（情報）教員資格認定試験**実務に関する証明書（様式）****※太枠内のみ出願者本人が記入し、それ以外の欄は証明者が記入してください。**

(1) 出願者氏名、生年月日（出願者が記入）

出願者氏名	試験 太郎	
生年月日	昭和 平成	60年 5月 1日生

(2) 上記出願者の勤務期間（証明者が記入）

勤務期間	勤務先	職名	担当教科	勤務期間
	○○県立 認定試験高等学校	講師	数学	平成27年4月 1日から 平成31年3月 31日まで
				年 月 日から 年 月 日まで
				年 月 日から 年 月 日まで
	上記期間における実労働時間			7, 680時間
勤務しなかつた期間	期間	事由 (休職、育児休業等の別)	期間	事由 (休職、育児休業等の別)
	平成29年4月 1日から 平成29年8月 31日まで	病気休暇	年 月 日から 年 月 日まで	
	年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日から 年 月 日まで	
	年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日から 年 月 日まで	

(1) に記載の者は、上記のとおり実務に関し良好な成績で勤務したことを証明する。

令和 8年 2月 20日

(証明者) 所 属 名 ○○県立 認定試験高等学校

職 名 校長

氏 名 ○ ○ ○ ○

公印
印

(記入上の注意)

- 「担当教科」について、免許状の教科と異なる教科でも差し支えありません。
- 「勤務期間」について、現在も引き続き勤務している場合は、証明日までの日付を記入願います。
- 「上記期間における実労働時間」は、「勤務しなかつた期間」を除いて算出してください。
- 「勤務しなかつた期間」とは、休職期間、育児休業期間及び引き続き90日以上の病気休暇等の全ての期間をいいます。
- 本様式は、認定試験ウェブサイトからもダウンロード可能です。複数必要な場合は、コピー（全ページ）してください。
- 明らかに3年以上かつ4,320時間の勤務が証明できる場合は、勤務時間を詳細に算出・記載する必要はありません。
「4,320時間以上」と記載してください。